

# デバッグエミュレータの設定について

2版 2021年01月27日

## 1. 概要

本アプリケーションノートでは、CS+で使用するデバッグエミュレータ（E1 エミュレータ、E2 エミュレータ Lite）の設定方法について説明いたします。

CS+で使用するデバッグエミュレータにつきましては、種類が複数あり、お客様が使用されているものと弊社サンプルプログラムで設定されているものが違う場合がございます。

その場合には、本アプリケーションノートの内容をご確認いただき、デバッグエミュレータの設定を行ってください。

## 2. 開発環境について

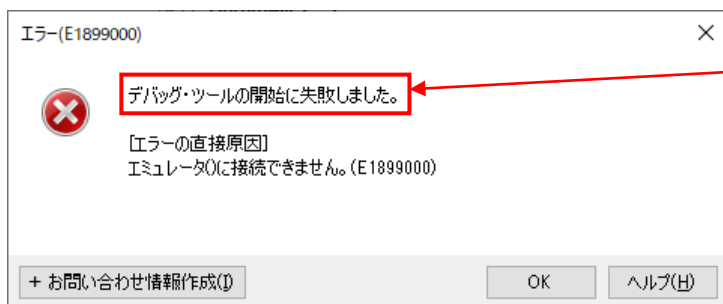
本アプリケーションノートでは、下記の開発環境にて説明します。

名称	バージョン	用途	備考
総合開発環境 CS+	V.8.03.00	統合開発環境	
CC-RX	V.2.08.01	ビルドツール	評価版使用可能
E1 エミュレータ	V1.03.00.09	デバッグエミュレータ	
E2 エミュレータ Lite	Rev.00	デバッグエミュレータ	

## 3. エミュレータの設定が違う場合

デバッグ・ツール（デバッグエミュレータ）との接続時に下記のエラーが発生した場合には、CS+の設定が正しくないことが考えられます。

「4. デバッグエミュレータの設定方法」を参照していただき、設定内容をご確認ください。



こちらの内容は、接続の手順によってとなります。

## 4. デバッグエミュレータの設定方法

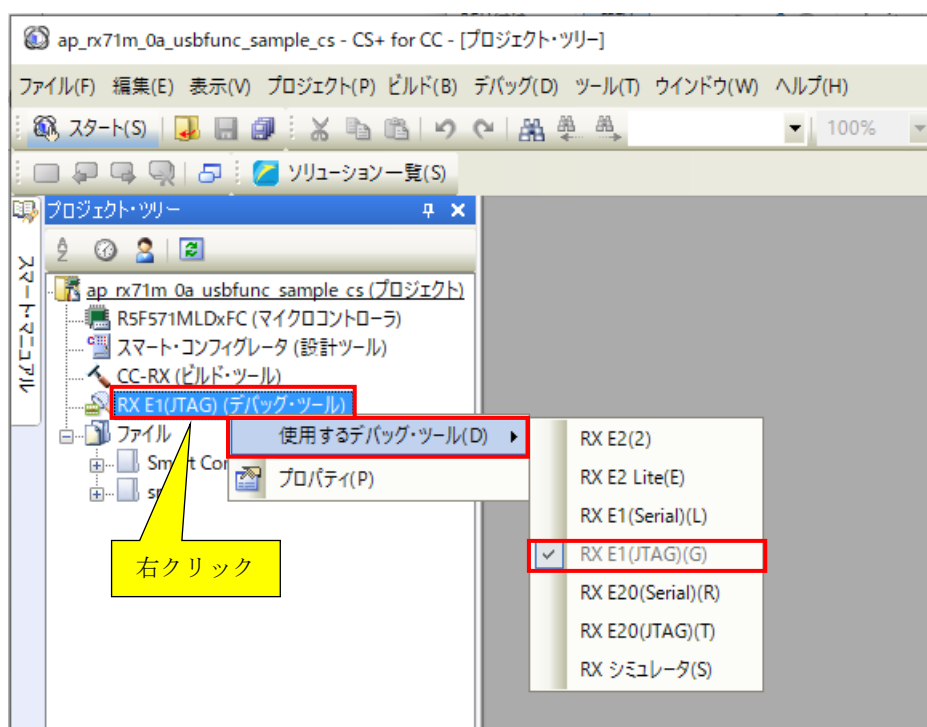
デバッグエミュレータの設定を行う場合、まず、CS+にて、デバッグを行うプロジェクトを開いてください。  
次に、使用するデバッグエミュレータに合わせて、下記の設定を行ってください。

### 4.1 E1 エミュレータを使用する場合

E1 エミュレータを使用する場合には、下記の設定を行ってください。

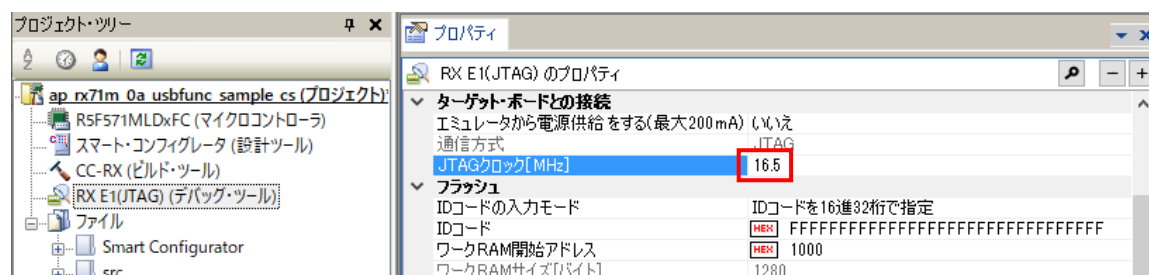
① エミュレータの選択をします。

「デバッグ・ツール名 (デバッグ・ツール)」を右クリックし、ポップアップメニューを開き、「使用するデバッグ・ツール」から「RX E1(JTAG)」を選択します。



② JTAG クロックを設定します。

「デバッグ・ツール名 (デバッグ・ツール)」をクリックして開いたプロパティの「ターゲット・ボードとの接続」の中の「JTAG クロック[MHz]」を 16.5 に設定してください。

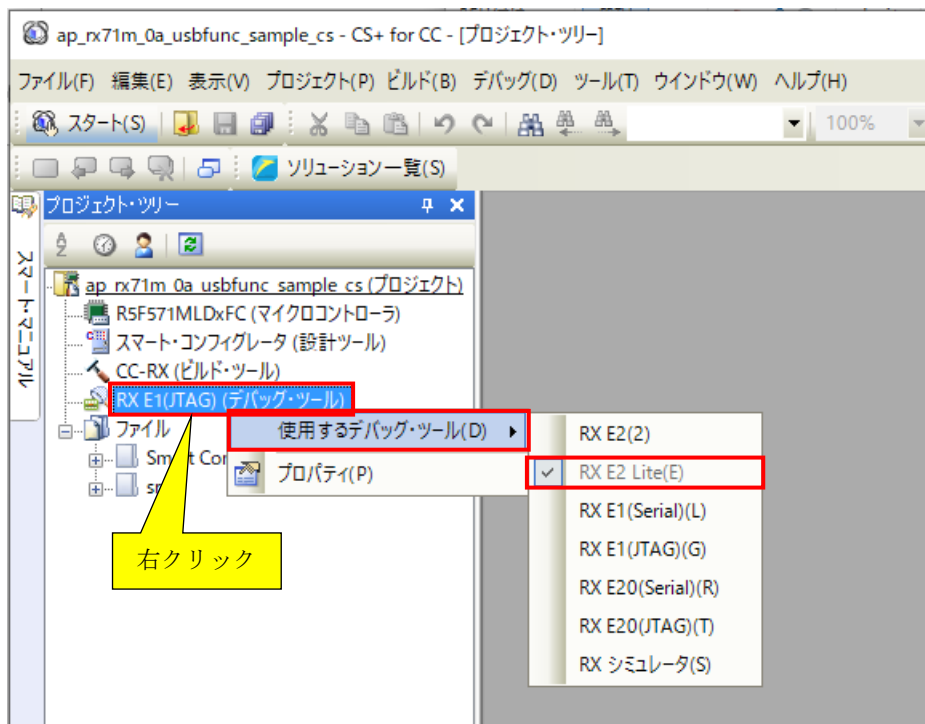


## 4.2 E2 エミュレータ Lite を使用する場合

E2 エミュレータ Lite を使用する場合には、下記の設定を行ってください。

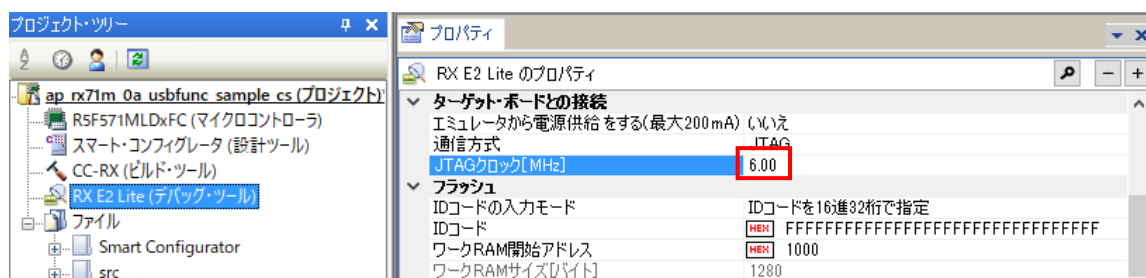
① エミュレータの選択をします。

「デバッグ・ツール名 (デバッグ・ツール)」を右クリックし、ポップアップメニューを開き、「使用するデバッグ・ツール」から「RX E2 Lite」を選択します。



② JTAG クロックを設定します。

「デバッグ・ツール名 (デバッグ・ツール)」をクリックして開いたプロパティの「ターゲット・ボードとの接続」の中の「JTAG クロック[MHz]」を 6.00 に設定してください。



## ご注意

- ・本文書の著作権は株式会社アルファプロジェクトが保有します。
- ・本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・本文書に記載されているサンプルプログラムの著作権は株式会社アルファプロジェクトが保有します。
- ・本サンプルプログラムで使用されているミドルウェアおよびドライバの著作権はルネサス エレクトロニクス株式会社が保有します。
- ・本文書に記載されている内容およびサンプルプログラムについてのサポートは一切受け付けておりません。
- ・本文書の内容およびサンプルプログラムに基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承ください。
- ・本文書の内容については、万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点、誤りなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- ・本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

## 商標について

- ・RX はルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・CS+はルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・E1 エミュレータはルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・E2 エミュレータ Lite はルネサス エレクトロニクス株式会社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。